

全国初の『スポーツ都市宣言』に込められた熱い思い



▲宣言文朗読の大泉市長

スポーツ都市宣言

わたくしたち苦小牧市民はスポーツを愛し、スポーツを通じて健康でたくましい心と体をつくり、豊かで明るい都市を築くため次の目標をかかげて、ここに「スポーツ都市」を宣言します。

- 1 市民すべてがスポーツを楽しみましょう。
- 2 力をあわせてスポーツのできる場をつくりましょう。
- 3 次代をになう青少年のため、地域にも職場にもスポーツの機会をつくりましょう。
- 4 世界に活躍できる市民を育てて広く世界の人と手をつなぎましょう。

(昭和41年11月12日宣言)

スポーツ都市

苦小牧の誕生

スケートの街といわれていた苦小牧市ですが、昭和41年ごろにはその他のスポーツの競技人口も増え、体育協会の加盟団体が増加し、スポーツ界が一段と盛り上がりを見せてきました。そんな時代を背景に、スポーツ都市宣言の機運が高まり「陳情書」が市と市議会に提出されました。これをきっかけに昭和41年11月12日、全国で初となるスポーツ都市宣言が当時の苦小牧市長大泉源郎おおいずみげんろうによって行われました。「全市民がスポーツに親しみ、スポーツを通じて生活を健康で明るい豊かなものとし、また次代を担う青少年には躍進都市にふさわしく、たくましく成長してほしい」とそんな熱い思いが込められたスポーツ都市宣言。この宣言を契機に、全市民がスポーツによって一段と心身を鍛錬して、明るい郷土のまちづくりを進められるようさまざまな取り組みを行ってきました。

50年間の歩み

昭和41年

スポーツ都市宣言(全国初)

日本アイスホッケーリーグ開幕(苦小牧市から王子、岩倉が加盟)

昭和42年

ハイランドスケートセンター(現ハイランドスポーツセンター)完成

昭和47年

オーロラ球場完成

昭和48年

総合体育館完成

昭和54年

ときわスケートセンター完成

昭和56年

緑ヶ丘公園陸上競技場完成

昭和58年

緑ヶ丘公園陸上競技場クレイコート完成

昭和61年

緑ヶ丘野球場完成

平成元年

第61回選抜高等学校野球大会苦小牧工業高校出場

平成2年

日新温水プール完成

平成7年

全国の自治体で初めて「スポーツマスター制度」採用

平成8年

白鳥アリーナ(現白鳥王子アイスアリーナ)完成

平成12年

沼ノ端スケートセンター完成

平成16年

第86回全国高等学校野球選手権大会駒大苦小牧高校(優勝(北海道初))

平成17年

第87回全国高等学校野球選手権大会駒大苦小牧高校(優勝(2連覇))

平成18年

第88回全国高等学校野球選手権大会駒大苦小牧高校(準優勝)

平成22年

沼ノ端スポーツセンター完成

平成26年

新ときわスケートセンター完成

平成27年

フルームボール世界大会2014 in 苦小牧開催

平成28年

緑ヶ丘公園陸上競技場が全天候型にリニューアルオープン

スポーツと他のジャンルをつなごう

スポーツの役割を大いに活用し、地域づくりに生かすためには、他のジャンルとの「つながり」が必要です。スポーツの枠だけにとらわれず、異なる分野との共存・融合を積極的に行うことで、数多くの「人と人」をつなぎ発信力を高めていきます。



スポーツの枠にとらわれない異なる分野との共存・融合

50周年を迎え、苦小牧市は「つながり」をテーマに事業展開してまいります

人と人をつなごう

スポーツを「する人」だけでなく、トップレベルの競技大会やプロスポーツの観戦など「観る人」、指導者やスポーツボランティアといったスポーツを「支える人(育てる人)」に着目し、「つながり」合うことで地域におけるスポーツの充実(普及・定着)を図ります。



「する人、観る人、支える(育てる)人」の重視